

# JR東海労なごや

2013年4月6日 No. 957  
JR東海労名古屋地方本部  
発行者：山田哲也  
編集者：堀部肇

「運が悪かった」だけでは済まされない！！

## 3月30日飯田線、列車1時半遅れ 原因は、駅無人化とワンマン化にある！

会社が駅無人化・ワンマン化を問題にしてきた労働組合の主張を無視した結果です。

3月31日新聞報道によると飯田線ワンマン列車にてICカードでの精算業務に手間取り列車が90分から60分の遅れが発生しました。

これまで会社が業務の効率化と称して駅の無人化、ワンマン列車の拡大を行ってきた結果がこの様な事態を生み出したと言えます。

2013年3月31日 毎日新聞(朝刊)

### 愛知のJR駅 92分遅れ

JR東海は30日、飯田線の東新町、茶臼山駅(愛知県新城市)で、沿線の公園の花見などに訪れた乗客計20人のICカード乗車券の精算に手間取り、上下3本の普通列車が最大1時間32分遅れたと発表した。両駅の改札はICカードに未対応で、運転士が手作業で精算したという。

### 花見客の誤算 精算は手作業

#### ICカード未対応

JR東海によると、豊橋発本長篠行きの下り普通列車(2両編成、乗客約50人)が正午過ぎに東新町駅に着いた際に4人、次の茶臼山駅で16人が車内でICカードの精算を申し出た。運転士1人だけで運行していたこともあり、乗車券の確認や料金の受け渡しなどに時間がかかったという。後続も含めた乗客約200人にも影響が出た。駅の近くには桜公園などがあり、この日は多くの花見客でにぎわっていた。【安達一正

### IC使えない!? 列車1時間半遅れ

JR東海によると、豊橋発本長篠行き普通列車が21日午後7時25分ごろ、東新町(愛知県新城市)で停車した際、乗客4人がIC乗車券での支払いを申し出た。同駅にはICカードの精算設備がないため、運転士は乗客から乗った駅や経路を聞いて運賃を計算して現金で支払ってもらう作業に追われ、数十分遅れて出発した。さらに同様にIC未対応の茶臼山駅(同市)でも乗客16人がICでの支払いを申し出て、遅れが広がった。この列車を含め上下線二本が九時二十五分遅れ、二百二十人に影響が出た。飯田線では豊橋-豊川の六駅のみでICに対応している。

### ワンマン運転士に 20人が精算申し出

JR飯田線 新城の未対応2駅

ワンマン型IC乗車券の導入されていないJR飯田線の愛知県内の2駅で三十日午後、計二十人の乗客がICによる精算を申し出たため、ワンマン列車の運転士が精算作業に手間取り、列車が一時遅延した。二駅は桜の名所など観光地に近い。IC乗車券が導入されている地域から訪れた乗客が多かったとみられる。

### IC乗車券の精算 手間取り列車遅れ

JR東海は30日、カード型IC乗車券が導入されていない飯田線の愛知県内の2駅で、計20人の乗客がIC乗車券での運賃支払いを申し出たため、ワンマン列車の運転士が精算作業に手間取り、列車が計約1時間半遅れたと発表した。

2駅は花見など観光客の利用が多く、IC乗車券が導入されている地域から対外と知らずに列車を乗り継いで訪れたとみられる。JRによると、同日午後0時26分ごろ、豊橋発本長篠行き普通列車が東新町駅(愛知県新城市)で停車した際、4人がIC乗車券

会社の行っている効率化、業務の運営は安全・安定、快適なサービス提供と逆行しています。  
ICカードは他の線区でも問題が発生している。直ちに駅無人化、ワンマン列車を止めろ！